



教育通信

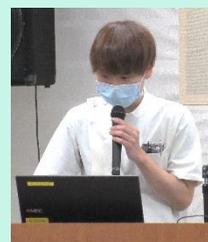


青森市民病院 看護局 令和6年 11・12月号

看護過程 発表会

今年度も青森中央学院大学教授 秋庭由佳先生を講師に迎え、看護過程(4回シリーズ)研修会を無事に終える事が出来ました。3ヶ月間、ケーススタディの患者さんと向き合い、自分の『看護観』に気づくことが出来ましたね。

秋庭先生が講評の中で『私が若い頃、ケーススタディは、4年に1回、自分で書いてみるように言われたものです。自分自身の看護を振り返るきっかけとなり、自分の看護の変化にも気づきます。』と話されていました。



皆さんも【自分の看護】を見つめ直すために、
ケーススタディを書きませんか？

今月の一言 「暖かい気持ちを自分に向けて」

